

- 1 活動名 震災被害と防災の取組みについて  
徳山駅前賑わい交流施設整備事業について  
地域づくり交付金事業について
- 2 調査の目的
  - (1) 本市における課題  
直下型地震のみならず、台風、集中豪雨などの自然災害が多発する中、より確実な防災体制が求められている。  
JR松本駅をはじめ、村井駅、南松本駅舎の改修が計画され、駅を中心とした地域の賑わい創出が期待をされている。  
地域づくりも10年を過ぎ、地域で行う様々な事業に対して、効果の検証と予算付けが課題となっている。
  - (2) 調査の必要性  
上記のとおり
  - (3) 調査項目  
防災対策・避難所運営対策、駅前整備計画、地域づくり交付金。
- 3 調査地選定理由
  - (1) 兵庫県神戸市  
人と防災未来センターにて被災状況、防災対策、避難所運営ノウハウを視察。
  - (2) 山口県周南市  
徳山駅前にオープンして2年が経過しようとしている賑わい交流施設の状況を視察、また、運営の状況などを聞き取り。
  - (3) 山口県山口市  
地域づくり交付金が、本市に比べ一桁違う現状があり、交付の状況、使われ方の状況などを視察。
- 4 調査結果
  - (1) 実施日 令和2年1月26日、27日、28日
  - (2) 出席者 6名 牛丸仁志、古沢明子、中島昌子、村上幸雄、  
上條俊道、柿沢潔
  - (3) 神戸市（令和2年1月26日）
  - (4) 周南市（令和2年1月27日）
  - (5) 山口市（令和2年1月27日）
  - (6) 成果・所感 別紙報告書のとおり
- 5 政務活動費
  - (1) 使途項目 調査旅費
  - (2) 支出額 508,966円(日当9,000円、宿泊費29,600円、交通費31,450円、航空運賃12,800円、防災センター入館料550円)×6人  
お土産2か所(周南市、山口市)8,566円